

補足解説

Q：リードタイムとは、警報・注意報を発表してから、対象となる現象が発表基準を超えるまでの時間ということだが、具体的に何時間を目標としているか。

A：リードタイムは、短時間強雨では概ね2～3時間、それ以外では3～6時間を標準にしている。

Q：雨が上がっても大雨のポテンシャルが解消されない時は大雨警報を解除しないということだが、もう少し具体的に説明して欲しい。

A：雨が上がった時点からみて、目安としているリードタイムの時間内に再び大雨警報の発表基準を超えると予想する場合には、大雨警報を解除せず継続する。

Q：警報の的確な解説にはシナリオの共有が重要と考えられるが、どのようにすれば予報官の想定しているシナリオを知ることができるのか。

A：現象の起こる前に発表する予告的な気象情報、警報発表時にあわせて発表される気象情報等から予報官の持っているシナリオを知ることができる。